

ひろしま環境ビジネス推進協議会公募型プロポーザル選定委員会
(令和5年度ひろしま環境ビジネス推進協議会新規事業創出支援業務)
議事要旨

令和5年3月14日
ひろしま環境ビジネス推進協議会
(事務局: 商工労働局イノベーション推進チーム)

令和5年度ひろしま環境ビジネス推進協議会新規事業創出支援業務の公募型プロポーザルについて、ひろしま環境ビジネス推進協議会公募型プロポーザル選定委員会(以下「選定委員会」)での審査を踏まえ、次のとおり候補者を選定した。

1 候補者

候補者	パーソルイノベーション株式会社
代表者	代表取締役 長井 利仁
住所	東京都港区南青山一丁目15番5号
契約期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日(予定)
申請提案額	49,999,681円(予定)

【選定理由】

選定委員会において、応募者から提出された事業提案書など、提案内容を審査基準に基づき審査を行った。

選定の主な理由として、候補者は、

- ・「①支援先企業の募集と選定」では、県内の一定の経営者とのコネクションを有する構成事業者とのタイアップと、オープンイノベーションの手法による相乗効果
- ・「②目標達成」では、伴走支援の内容及び実績に加え、10プロジェクトをブラッシュアップ後、5案件を選定する点などが、優れていると評価された。

2 会議の概要

開催日時	令和5年3月9日(木) 9:30~12:00
開催場所	広島県庁東館7階商工相談室

議 題	令和5年度ひろしま環境ビジネス推進協議会新規事業創出支援業務の公募型プロポーザル審査
-----	--

3 応募者（順番は申請順）

	応募者名	所在地	代表者名
A	中電技術コンサルタント株式会社広島支社	広島県広島市南区出汐二丁目3番30号	川本 智博
B	パーソルイノベーション株式会社	東京都港区南青山一丁目15番5号	長井 利仁
C	株式会社ゼロワンブースター	東京都港区東麻布一丁目7番3号 第二渡邊ビル 7F	鈴木 規文

4 令和5年度ひろしま環境ビジネス推進協議会新規事業創出支援業務公募型プロポーザル候補者選定状況

(1) ひろしま環境ビジネス推進協議会公募型プロポーザル選定委員会

委員長代理	空田 賢治（広島県商工労働局 総括官（新産業創出））
委員	大内 貞夫（公益財団法人ひろしま産業振興機構 経営支援統括センター 常務理事） 金田 典子（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進）） 出射 太（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（ものづくり・新産業支援）） 増廣 浩二（広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（環境エネルギー産業集積促進））

(2) 審査基準及び結果等

県は、環境・エネルギー分野を成長分野と捉え、県内から当該分野における新規事業が持続的に創出される環境作りと、成功事例となる案件の創出に力を入れている。新規事業創出のためには経営層のコミット、具体的な新規事業創出につながるプログラム、オープンイノベーションの環境作りが重要であるという観点から、「①支援先企業の募集と選定」「②目標達成」に重点をおいて審査を行った。

審査基準	審査の項目	配点	応募者 (※応募者名は3のとおり)			評価及び選定理由
			A	B	C	
新規事業創出プログラム						
①支援企業の募集と選定	幅広い産業分野から企業を募集し、新規事業創出を目指す企業の十分な確保が期待できる提案となっているか。	200	130	170	100	Aは経営層へのアタックの意気込みや県内企業とのネットワークに優位性があるものの、委託事業者との連携方法が不明確であると評価された。

	支援対象企業の経営層が事業への参加にコミットする仕掛けが施されているか。					B は事業ターゲットとなり得る県内の一定の経営者とのコネクションを有する構成事業者とタイアップしている点と、オープンイノベーションの手法による相乗効果が期待でき、事業目的にあった企業の確保が期待できる点が評価された。 C は大企業への実績については申し分ないが、県内企業とのコネクションが乏しく、想定している企業の参加に不安があると評価された。
②目標達成	目標設定, KPI, プログラムの内容, スケジュール, 体制及び実績は, 当プログラムの業務目標の品質と数量を満たす新規事業案の創出が期待できる内容となっているか。	120	72	90	90	A はビジネス化を主導できる人材確保に課題があると評価された。 B はオープンイノベーションのプラットフォーム, ビジネスビルド, 伴走支援の内容やその実績に加え, 10 プロジェクトをブラッシュアップ後, 5 案件を選定する点が評価された。 C は全国レベルでの支援実績や, 事業化に向けた伴走支援及び個々の項目に目標値を設定した各プログラムの企画が評価された。
③プログラムの内容 (目指す姿の明確化)	「支援対象企業の成し遂げたいビジョン」や「支援対象企業だからこそ創出可能な価値」の明確化が期待できるか。	20	12	15	14	
④プログラムの内容 (連携可能性)	提案の内容は, 新規事業案を作り上げる中で顕在化した課題や不足リソースに対し, 連携先の紹介・マッチングを行う等, 外部のリソースを活用することが期待できるものか。	20	11	16	14	
⑤プログラムの内容 (経営層へのコミット)	支援対象企業の経営者に対して進捗状況を適宜報告する機会を設ける等, プログラムで創出する新規事業案が支援対象企業の経営方針と乖離しないような工程が組み込まれているか。	20	15	15	16	
⑥プログラムの内容 (企業内での再現性)	提案の内容は, 業務終了後にも支援対象企業が自ら継続的に新規事業開発を進めていくことが期待できる内容か。また, その提案の内容の実現可能性	20	14	13	13	

	は十分か。					
交流の場「SCRUM HIROSHIMA」の企画・運営						
⑦参加企業の募集	幅広い産業分野及び地域から、各イベントの趣旨に合わせて企業に周知を行い、参加につなげることができるような提案となっているか。	60	42	48	27	A は2年間の実績に基づくコミュニティの活性化の実績と展開は期待できるものの、2年間の実績で得たつながり以外に、A 特有のネットワークの活用等による新たな参加企業の参加を期待できる要素が不足していると評価された。 B は全国区のプラットフォームと地元で根付いた構成事業者によるコミュニティの多様性に期待できると評価された。 C は地元金融機関との連携はあるが、県内企業とのネットワークやコミュニティ形成への具体的な提案が乏しいと評価された。
⑧オープンイベント	協議会会員外の者とも交流できる環境が用意され、参加者同士が主体的に活動して協力する輪が生まれるような内容であり、新ビジネス創出の挑戦意欲が高まることを期待できるか。	40	28	28	26	
⑨経営層向けイベント	対象とする経営層にとって有益な内容であり、当該イベントへの参加意欲が高まるような工夫があるか。	60	42	39	39	
⑩フォーラム	「広島県で環境エネルギー分野における新ビジネスへの挑戦が盛んに行われている」ことを県内外へ広く発信し、広島県で挑戦する気運を高められる活気あるイベントが期待できるか。	20	13	14	14	
⑪企業間連携の促進	各種イベントのない期間も含め、企業ニーズの把握や協議会会員等の相談や要望に常時対応できる等、企業間連携の可能性を高められる体制となっているか。	80	56	40	40	

⑫実行体制・スケジュール	本業務の目標達成に向け、最も効果的なスケジュール設定となっているか。 また、各業務の担当者名・役割・経験実績が明確に示され、業務への適正が確認できるか。	20	15	14	13	
広報						
⑬情報発信	本業務の活動内容を効果的に情報発信するものとなっているか。 県内企業の新規事業開発に対するマインドの醸成につながる事が期待できるか。	60	36	45	42	
その他						
⑭加算	新規事業創出プログラム及びSCRUM HIROSHIMA に連動性がみられ、将来的に、企業が新規事業創出に積極的に取り組む文化・土壌が醸成されることが期待できるか。	40	30	30	26	
⑮予算経費及び内訳	予算額及び経費の内訳に妥当性があるか。	20	12	14	13	
合 計 点 数		800	528	591	487	

※本結果は、5名の委員の合計点によるものである。